

▼本号は「インド特集」となりました。海外留学僧派遣育英会顧問高崎直道先生より特別寄稿をいただき感謝にたえません。高崎先生は四月一日東京大学教授を停年退職なされ早稲田大学客員教授となりました。

▼同じく顧問の前角博雄教師（ロスアンゼルス禅センター主管・仏真寺住職）は四月九日おこなわれた東京桐ヶ谷寺住職黒田純夫師（山主の法弟）の晋山結制に十一名の徒弟を連れて来日随喜されたが、その中の一人ローリー・大道師は両大本山に拝登して瑞世の式を挙げられた。その際前角老師は山主に対し、アメリカ禅センターを訪問取材するよう要請

されたので、今秋以後に訪米が実施するかと思われる。

▼第三次留学僧、島崎義孝・岩波弘道の両師は四月アメリカに、浦田智司師は五月タイ国にそれぞれ出発した。以下留学僧はアメリカに二名、タイ国、スリランカ、インドに各一名計五名である。

▼中国の李幼麟氏は目下駒沢大学に留学、良寛研究にいそしみ、良寛さんを中国に紹介したいと念願している真摯な学徒であり、飯田利行先生の推せんもあり、特別措置として日本留学生として採用した。

▼目下制作中の矜羯羅、制陀迦の二童子は来る十一月二十八日の例祭の際開眼供養をおこなう予定である。  
▼本寺光真寺では信徒会館が完成し

た。ついでには恒例の夏祭に団体参拝する予定につき、ふるって御参加くださるようお願いいたします。

▼五月二十八日不動明王大祭は詩人として高名な遠藤太禅老師（小熊由美さんの実父）の法話、法要は佐藤老師を大導師として無事厳修された。

成寿 第七号

昭和六二年七月一日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野町一六〇四

電話 〇四五（八四五）一三七一

印刷所 神奈川新聞社出版局



## 法乳かんのん

むら雲の如き煩惱

おどろおどろの慾念

われ生きてあれば

群がりおこるもろもろの

清からぬ思い

自虐の果なすすべもなく

つかれ果てたる旅路に

めぐり会わん観音の

大いなる乳ぶさがれ求めて

傷だらけの足をひきずり

今日も亦歩みつづけて……

何時の日か

世俗のはてに

心安けきふる里を得ん

(遠藤太禅「観世音声を限りに」から)

壽光佛



真橫